

構造ソフト 講習会の御案内

平素は弊社製品に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、データ入力時間を大幅に短縮し、設計行為により多くの時間を割いていただくことができる「次世代入力支援システム」と「3D表示とCAD入力機能が融合化したシステム」をご案内いたします。また、「BUILD.一貫IV+」や「BUILD.耐診 RC Ver.5」についてプログラムが本来持つ機能や使用方法のご理解をより深めていただくための講習会を企画致しました。

皆様にとって有意義となる講習会を目指しておりますので、ご多忙中とは存じますが、是非ともご参加のほど宜しくお願い申し上げます。ご参加希望のお客様は、本紙下段に必要事項をご記入の上、弊社までファクシミリにてお申し込みください。

「次世代入力支援システム」と「BUILD.一貫IV+、BUILD.耐診RCの活用法」

日時	平成24年1月26日(木) 13:00~16:20		
場所	ホテル グランフォーレ 2階サザンクロス (三島川之江ICより10分、JR三島駅より徒歩15分) 愛媛県四国中央市三島朝日1-1-30 TEL:0896-23-3355		
受講料	無料	定員	60名

内 容	I.「BUILD.一貫IV+」の拡張機能と効果的な使用法 [13:00~13:50](講師:弊社開発部) ①許容応力度計算(最近の拡張機能から重要ポイントを説明) ②保有水平耐力計算(最近の拡張機能から重要ポイントを説明) ③「BUILD.一貫IV+」「BUILD.GPⅢ」:偏心杭のある建物での基礎梁設計の注意点 「GPⅢ」の施工時の杭心ずれシミュレーション機能の紹介
	II.「POWER-小梁Ⅱ」「POWER-スラブⅡ」の「BUILD.一貫IV+」との一体化使用のご紹介 [13:50~14:10](講師:弊社開発部) ①一貫IV+対話入力時に部材をクリックするだけで計算結果を参照できる融合機能 ②一貫IV+からPOWER-小梁Ⅱ、スラブⅡへのエクスポート機能 ③POWER-小梁ⅡとスラブⅡの拡張機能(横補剛材としての強度と剛性の検討他)
	III.「BUILD.耐診RC/耐震補強オプション、2004年拡張オプション」の便利な活用法 [14:20~15:20](講師:弊社開発部) ①仮想仕事法による下階壁抜けの検討と付加軸力の活用法(2.5次診断) ②耐震補強オプションにおける物件管理型メニューの活用事例(補強前と補強後の連続実行と併記出力等) ③同オプションを利用した出力機能の活用法 ④2004年拡張オプションにおける図化とエクセル形式出力の活用法
	IV.「次世代入力支援システム」と「3D表示CAD入力システム」のご紹介 [15:25~16:05](講演者:弊社代表取締役 星 睦廣) ①次世代入力支援システム B×Dや鉄筋情報を入力せずに検定データ作成が可能なRC造の一貫計算データ作成入力支援システムのご紹介 ②3D表示とCAD入力機能が融合したシステム 建物データだけでなく応力図・ヒンジ図の3D表示とワンタッチで任意の2D表示へ切り替えができ、壁開口位置の変更ができるシステムのご紹介
	V.質疑応答 [16:05~16:20]

…切り取らずにそのままご使用下さい…

(株)構造ソフト 営業部 行/お申込FAX番号:03-5249-2160

「2012年/構造ソフト講習会」参加申込書 四国中央市

御社名:	(ユーザー番号:)
お名前:	(複数名様記入可)
ご住所:	
TEL:	FAX:
e-mail:	

お申し込みいただきましたお客様には、開催日の3日前頃に受付票をFAXいたします。